

良き品を売ることは善なり。良き品を広告して
多く売るとはさらに善なり。 松下幸之助

健全な肉体に健全な精神が宿るように
笑顔の店には金が宿る。 藤田田

多くの人よって、チャンスが見過ごされるのは
それは作業衣を着ていて、仕事のように見えるからだ。
トーマス・A・エジソン

人生の成功の秘訣は、チャンスがきたときに
それに対する用意ができていることである。
ベンジャミン・ディズレーリ

想像力は知識より重要である。 アインシュタイン

他人の利益を図らずして自ら栄えることはできない。
アンドリュー・カーネギー

この半年間本社の玄関に添えられた偉人たちの名言格言の一部です。毎日目にして自分自身を鼓舞してきました。この一年日頃の感謝を込めて、この小冊子をお届けします。新年も思い通りのドラマが描けることをお祈りいたします。

平成27年正月 三興商事株式会社 代表取締役 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

- 一 顧客開拓、商品開発はエンドレス。勇気を持ってトライを続けていこう。
今以上の売上を確保していくには販路開拓と良い商品を開発、商品売る力を持たなければならない。
そのためにはメーカーさんと我が社の営業の両輪が上手く回転するように常に考えていこう。
 - 一 「会社の真の支配者はお客様である」お客様の要求を満たすためには各営業所のトップ自らが商品と提案力を持ち、お客様を定期的に訪問する。訪問頻度こそ業績向上の鍵だと思う。向上心の高い社員を目指そう。
毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。
- 1502 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 今まで伸びてきた社員はその伸びる時の数年間、仕事漬けの日々を送ってきた。営業職も工事職も事務職も同じ。惜しみなく時間をかけることも必要な時は必ずある。身体も頭脳も才能も使わなければ鈍化する。鍛え、磨くと輝きが増し、実力となって身についていく。

一 営業職も工事職も事務職も学ぶ気持ちがあれば身の回り全てが教材だ。毎日毎日が興味深いことだらけだ。これからも学びの種は尽きることがない。だから懸案事項は必ず書いて「完」にして次の作業に移っていこう。これからも生涯学習だ。毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1503 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 自分にこの仕事ができるだろうか。この商品の担当者になれるだろうかなどと尻込みせず、「よしやろう」と決めたら、行動に移そう。

ただ決心してあっさりやろう。案ずるより産むが易しだ。不平不満を抱くか、喜んで励むか。心の持ち方が良い状況を生む。

一 失敗しようとして失敗する人はいない。ましてや新人は慣れない仕事で小さな失敗はつきもの。しかし、仕事にも慣れ立ち立した頃に起こす失敗は新人の失敗とは比較にならない大きな損害を起こす場合がある。

自信や過信が原因。常に謙虚さを忘れずに基本を大事に考えよう。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1504 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 我が社では設計図や施工図をはじめ、現場の工事記録やメーカー会議の資料など大事に保管されている。

しかし、必要としなくなった資料や役にたたなくては死蔵とってものを活かすことにならない。不要となったものはすぐに処分し、ものを活かすよう整理していこう。

一 会社のトイレが清潔だとその会社の印象は良い。飲食店では味に評判の店でも清潔感の欠如がイメージを180度変えてしまう。

トイレは企業の鏡ともいえる。「立つ鳥跡を濁さず」自分のいた場所を綺麗にして去るという諺。お互いに気配りして心まで綺麗にしていこう。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1505 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 各営業所の玄関に鏡がある。入社時、鏡に映る自分に「おはようございます」と挨拶してみよう。自分に挨拶をして頭を下げることは自分を尊び、大切にできる心が養われる。自分を尊ぶ心が深まれば深まるほど他人も尊ぶことができる。お互い尊重しあえる職場作りをしていこう。

一 一流になれない人の3つの習慣は「物事を先送りにする」「絶対的な努力の量が足りない」「自分への期待度が低い」というものだそうだ。

どれも一斉に改善するのは難しいが自分に高い期待をかけることが一番大切だと思う。

自分への期待が低くなると成長は止まってしまう。毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1506 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一「時間ほど浪費しやすいものではなく、時間ほど貴重なものはない」誰にでも時間は平等に与えられているが、活かすも活かさないも自身にある。時間をかけたら成果が上がる訳ではない。成果が上がる活動に多くの時間をかけることが大事だ。

一「攻撃は最大の防御」逆風の時も会社は走り続けなければならない。

建築業界が不況だから我が社の業績も良くないという考えは持たないようにする。時代の流れを追い風にして会社を前進させていこう。成長拡大。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1507 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 「自分はその人よりいい」「その人よりできる」と他人と自分を比べることで今の自分に満足し、安心してしまうことが多い。

今の自分に自信を持てば他人と比べる必要はなくなる。本物の自信が持てるように自分をまっすぐ見つめていこう。

一 「人に勝つより、自分に勝とう」他の社員と比較して劣っていても恥じることはない。それより去年と今年の自分を比較して劣っていたら、それこそ恥じることだと思う。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1508 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 今期目標を達成できなかった結果を続けて敗北の経験に終わらせてはいけない。

自分に乗り越えられない試練はないからだ。来期は掲げた目標を必ず達成しよう。

一 「足下をおろそかにして正しい判断は生まれない」人は花を咲かすことに努力するが本当は根を養うことにあると思う。

一 努力していても「努力しているつもり」の場合ではないだろうか。

自分と比較して能力的に差がないと思っても実績に差が出てしまうのは努力が足りないからだ。人知れず地道な努力を重ねていこう。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1509 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 電話に出るのが苦手。人前で話すのが苦手。人には苦手なものが必ずある。

日常生活を送る上では避けていれば済むが仕事をしていく場合では致命傷になる。

それを嫌う気持ちが意志を弱くさせる。よりよい仕事をしていくためには一念発起して苦手や弱点を克服していこう。

一 職場は先輩、同僚などの働きぶりから学び、自己の課題を見つけてチャレンジ・克服する自己啓発の場だ。それをどう活かすかはどうかは自分次第。

どんな仕事であっても「何か学ぼう」と自分自身の成長のために全てを受け入れ、全力投球で取り組むことが大切だ。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1510 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 会社内での業務上の報告や会議での発言は無難にこなしてもお客さんとの会話でどうしたらいいのか困ることがある。

自分から相手に興味を持って接していこう。そうすれば次第と親密度が増し、具体的な会話へと発展していく。何気ない会話からコミュニケーションは深まる。

一 チューリップを咲かせるにはまず畑をよく耕してから、求婚を植え、毎日水をやり、綺麗な花が咲く。仕事も同じだと思うが最近では畑を耕したり、水をやる作業が少なくなったように感じる。仕事があるときしか、お客さんの会社に行かない社員には綺麗な花は咲かない。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1511 嶋尻行雅

朝礼での週報10ヶ条抜粋

一 ラクビーで活躍した五郎丸選手がキック前に行うポーズがある。イチロー選手も打席に入る前のポーズはいつも同じ。

これは心と体の緊張をほぐし、本番に対して最高のコンディションに持っていく狙いがあるという。だから、私達も自分に会った仕事前の儀式「プリショット・ルーティン」を確立しよう。

一 仕事や家庭で喜びを感じるためには自身が人を喜ばせることから始まる。

まわりの人に喜んでほしいという心の働きが自分自身の喜びにつながり、達成感を持って物事に取組む姿勢に通じるのだと思う。喜びの輪をまわりに広げていこう。

毎週朝礼で社員と自分に対して課題を投げかけています。

1512 嶋尻行雅